

【北大腫瘍病理（第28回）・（公財）札幌がんセミナー ジョイントセミナー】

『NGSを用いたがん研究とクリニカルシーケンスの現状と展望』

高阪 真路 先生

（東京大学大学院医学系研究科 ゲノム医学講座 特任助教）

〔日時〕 平成29年11月17日（金）18時00分～19時00分

〔場所〕 北海道大学・医学部学友会館 フラテホール（北15西7）

〔主催〕 北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室 田中 伸哉、
公財・札幌がんセミナー

〔共催〕 日本病理学会北海道支部・北海道癌談話会・
日本生化学会北海道支部

〔講演要旨〕

高阪先生は北大腫瘍病理の大学院博士課程修了後、米国Memorial Sloan Ketteringのclinical sequenceの第一人者Marc Ladanyi博士のもと、がんのトランスレーショナルリサーチに従事（Kohsaka, S., et al. Nat Genet, 2014）。帰国後は東大の間野研にてNGSを用いたがん研究に従事するとともに（Kohsaka, S., et al. Sci Transl Med, in press）、本年度より東大病院で開始されたがん医療のクリニカルシーケンスを進めている。本講演では、NGSを用いた最先端のがん研究と、がん医療としてのクリニカルシーケンス／パネル検査の現状と展望についてご講演頂きます。

〔連絡先〕

北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室

津田 真寿美（電話：011-706-5053、e-mail: tsudam@med.hokudai.ac.jp）